

道路の維持管理と老朽化対策



●道路の維持管理と老朽化対策

●道路の修繕維持

近年の交通量の増加や車両の大型化に伴い、道路の損傷が増加しています。
このため、定期的な道路パトロールや舗装修繕等を行い、安全で快適な交通の確保に努めています。



● 都農綾線（国富町）



舗装補修

●震災対策

東日本大震災や熊本地震により道路が寸断され、機能不全に陥ったことを教訓に、道路の震災対策を進めています。

特に橋りょうが被災すると復旧に多くの時間を要し、物資輸送等に多大な影響を及ぼすため、緊急輸送道路における橋りょうの耐震補強を重点的に実施しています。



● 国道218号 干支大橋（延岡市）



耐震補強

●防災対策

本県は、急峻な地形や脆弱な地質といった厳しい自然条件下にあります。

そのため、災害を未然に防止するとともに、災害が発生した場合の被害拡大を最小限に抑えるため、落石等に対する防災対策を計画的に進めています。



● 国道268号（宮崎市）



法面对策

●「道路愛護活動」について

県民の皆さんとの協働による道路環境の保全活動を推進していくため、「道路愛護活動支援事業」を実施しています。この事業では、県が管理する道路においてゴミ拾いや花植え、草刈りなどの活動を行う団体に対して、以下のような支援を行っています。

- ①美化活動に対して
清掃用具の支給または一時貸付け、苗木などの支給
- ②草刈り活動に対して
活動奨励金の支給（一定の要件を満たす活動に限る）

令和7年3月31日現在、県内の213団体と協定を締結し、道路環境保全活動に取り組んでいただいています。



● フラワーマンス空港線花植（宮崎市）



道路の維持管理と老朽化対策



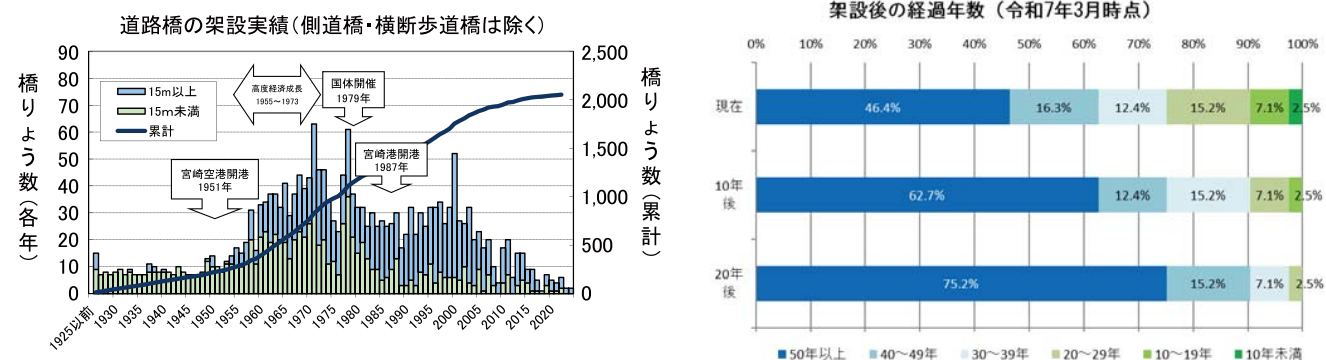
●橋梁の汗人（アセット）マネジメントについて

●宮崎県の橋梁の現状

現在、県が管理する橋梁数（車両が通行できる道路橋）は2,061橋であり、高度経済成長期の1960年代から1970年代前半に、多くの橋梁が架けられています。

そのうち、架設後50年を経過している橋梁が全体に占める割合は46%ですが、その割合は、10年後には63%、20年後には75%と急激に高まり、高齢化が急激に進んでいきます。

このため、宮崎県では、橋梁を維持管理するにあたり、その費用の最小化と平準化を図り、県民に質の高いサービスを提供し続けることを目的とした、汗人（アセット）マネジメントに取り組んでいます。



●橋梁の点検

常に橋梁を良好な状態に保全し安全かつ安心な交通を確保するとともに、点検結果で得られた資料を蓄積することにより合理的かつ計画的な維持管理を行うことを目的に毎年約400橋の橋梁定期点検を実施しています。



●橋梁の補修

橋梁の定期点検の結果から、健全度や交通規制への影響度等を踏まえ、速やかに補修が必要と診断した橋梁を優先的・計画的に補修工事を実施しています。



●維持管理費用縮減の取組

施設の老朽化に伴い、維持管理費用の増大が見込まれるため、より一層、コスト縮減を図る目的で、「集約化・撤去」や「新技術の活用」を進めています。

